

第7回東アジア地域包括的経済連携（RCEP）  
中間閣僚会合  
2019年3月2日 カンボジア・シェムリアップ

共同メディア声明（仮訳）

1. RCEP参加国16カ国の閣僚は、2019年3月2日にカンボジアのシェムリアップで開催された第7回RCEP中間閣僚会合に出席した。この会合は、カンボジア王国のフンセン首相により開会され、チュティマ・ブンヤプラパット・タイ商務副大臣（商務大臣代行）が議長を務め、2018年11月14日にシンガポールで開催された第2回RCEP首脳会議以降の進展、特に2019年1月25日及び26日にインドネシアのジャカルタで開催された第2回特別貿易交渉委員会（TNC）並びに2019年2月19日から28日までインドネシアのバリで開催された第25回貿易交渉委員会（TNC）とその関連会合の成果を検証した。
2. 閣僚は、現代的で、包括的な、質の高い、かつ互恵的なRCEPを2019年に妥結するという首脳の決意を想起し、この目標を達成するために最大限努力することを決心した。閣僚は、市場アクセス及びテキスト交渉の双方について、これまでの良い進展を評価する一方で、双方の交渉を進めるために取り組むべき多くの作業があることを認識した。閣僚は、すべての交渉参加国に対して、商業的に意味のあるバランスのとれた成果の実現に向けて取り組みつつ、特定のセンシティブティに対応することを求めた。閣僚は、共同のコミットメントと現実主義により、RCEP協定を構成する章及び附属書の妥結が早期に可能と引き続き確信している。閣僚は、交渉の課題を克服し、建設的な取り組みを通じて、残る論点の解決策を見出し、進展を確保することは、すべての交渉参加国の共同責任であることを強調した。
3. 2019年の妥結という首脳のマンデートの達成に向けて、交渉の進展を確保するために、閣僚は、更なる中間会合の開催を含め、本年の今後の取り組みを強化することに合意した。閣僚は、次は第27回RCEP・TNC会合及び関連会合の後、2019年8月に開催される第8回RCEP中間閣僚会合で会することに合意した。